



6月24日 全国一の宮城小学校リコーダー部
第16号 輝くてだこ市民賞受賞

今年3月に宮城小学校リコーダー部が、第34回全日本リコーダーコンテストで最も優れた団体に贈られる「花村賞」を受賞しました。

「花村賞」の受賞は5年ぶり2度目で、すばらしい功績を残した宮城小学校リコーダー部は「輝くてだこ市民賞」に選ばれました。

6月24日の表彰式では、市長が受賞者に表彰状と記念品を手渡し「両親や先生に感謝し仲間との友情を大切に」と激励しました。現部長の西里日那さんは「3度目の受賞を目指し今年も頑張ります」と連覇に燃える元気な挨拶をしました。



7月2日 銘苅淳氏（ハンドボール選手）
母校で講演会

港川中学校で同校出身のプロハンドボール選手、銘苅淳氏が講演を行いました。銘苅氏は、現在ハンガリーのトップリーグに在籍しており、今回は一時帰国を機に生徒たちの将来の進路決定に役立てて欲しいと自身の経験を話しました。

講演では、「なりたい自分になれるよう、今すぐ実行することは大切なことだ」と力強く話しました。世界で活躍するプレーヤーの話を聞いて生徒代表の島袋貴弘さんは「明日からではなく今からなりたい自分になれるよう、努力したい」と新たな目標を話してくれました。



7月4日 のぼり旗で特定健診の
受診率アップ！

浦添市から浦添市医師会と各自治会へ特定健診ののぼり旗を贈呈しました。のぼり旗の贈呈は、身近な病院や自治会にのぼり旗を設置してもらうことで、特定健診の周知や受診率の向上を目的としています。平成29年度までに受診率60％達成が目標ですが、平成25年5月末現在の浦添市の受診率は33.1％となっています。生活習慣病は自覚症状がなくどんどん進行するものです。対象者は無料で受診することができるので、自分のために家族のために、特定健診を受けて健康をしっかり守っていきましょう。



7月2日 第63回社会を明るくする運動
メッセージ伝達式

「第63回社会を明るくする運動メッセージ伝達式」が市長応接室で行われました。毎年7月はこの運動の強化月間として、作文、標語コンテストなどの行事を展開しています。また、法務大臣、県知事、県教育長から非行防止、健全育成推進のメッセージを伝達しました。会長の森田氏は「保護司の人数が足りないという課題がありますが、行政の力をかりて頑張っていきたい」と力強く話していました。

市長からは「歴史ある活動と努力のお陰で犯罪は減りつつあります。浦添から明るい社会を作っていけるよう協力していきます」と挨拶しました。



7月4日 各中学校代表の熱い主張！

第27回浦添市少年の主張大会が浦西中学校で開催されました。市内各公立中学校から男女一人ずつの代表者が出場し、日常生活を通して考えていることを訴えました。

「命を見つめて」という題で、出生前診断での命の選別について主張した仲西中学校の赤嶺舞さんが見事最優秀賞に輝きました。この大会で最優秀賞・優秀賞を受賞した生徒は、9月6日に那覇市で開催される第27回「沖縄県少年の主張・那覇地区大会」へ浦添市代表として派遣されます。

最優秀賞 仲西中学校 赤嶺 舞さん
優 秀 賞 仲西中学校 時田浩夢さん
優 秀 賞 神森中学校 太田紀香さん



7月21日 集まれ！未来の消防士

7月21日、消防活動への関心を持ってもらい、地域と消防行政をつなぐことを目的に、浦添市消防本部で「てだこキッズファイヤーフェスタ」が開催されました。

参加した子ども達は、はしご車の試乗、放水、救助訓練体験、心臓マッサージやAED取り扱いなど普段は経験できないような消防士・救命士の仕事を体験しました。また、消防車や救急車の展示も行われており、消防職員が展示車両の役割や機能を説明しました。子ども達は消防車や救急車の隠れた装備や性能に驚いた様子でした。



7月3日 てだこまつりポスターの
モデルはあの人！

今年も盛り上がった浦添てだこまつりでしたが、公共施設や市内各所に貼られていたポスターをご覧になりましたか。ポスターは毎年、浦添工業高校に製作依頼をしており、今年は「海だ！祭りだ！夏だ！」をテーマにした新里輝（3年）さんの作品が最優秀デザインに、稲福彩さん、金城紫織さんの作品が優秀デザインに選ばれました。

7月3日、市長応接室でこのポスターデザイン提供に対する感謝状が贈呈されました。新里さんは「自分のじいちゃんとはあちゃんがモデルです」とデザインに込めた思いを市長に熱く説明しました。

